世界自然遺産
Shirakami-Sanchi World Natural Heritage Area

白神山地マップ

環境省
Ministry of the environment

　このパンフレットは、白神山地世界遺産地域及び周辺地域を訪れる方を対象として、入山マナーやルール等の情報をまとめたものです。

＜白神山地に関するお問い合わせ＞

環境省　白神山地世界遺産センター（西目屋館）
青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田 61-1
TEL 0172(85)2622　FAX 0172(85)2635

環境省　白神山地世界遺産センター（藤里館）
秋田県山本郡藤里町藤琴字里栗 63
TEL 0185(79)3001　FAX 0185(79)3008

http://www.sizenken.biodic.go.jp/isan/s002.htm
http://tohoku.env.go.jp/nature/shirakami/

発行／東北地方環境事務所
協力／白神山地世界遺産センター藤里館活動協議会

白神山地の登録理由

　白神山地は、東アジアで最大規模の原生的なブナ林です。日本のブナ林の多くは、かつて伐採され、スギなどの人工林に置き換えられてきましたが、白神山地は都市部から遠く離れ、地形が険しいこともあり、人の影響をほとんど受けませんでした。遺産地域の面積は約17,000haで、ブナ林が長期的に存続するために十分な大きさです。

　ブナ林は、約3,000万年前には北極周辺に存在していました。約７万年前から１万年前まで続いた氷期の時代、ブナ林は寒さから逃れるため暖かい南の方へ移動しました。その際、ヨーロッパなど世界の多くの地域では、東西に広がる山岳地域に阻まれて南下できず、植物の種類が少ないブナ林になりました。しかし、日本では東西に広がる山岳がなく、南下できたため、約3,000万年前の植生に近い、他にはない豊かなブナ林が残されています。

自然ガイド

　白神山地周辺の市町村には、白神山地の自然を紹介するガイド団体があります。地元自治体等が中心となって行っているガイド団体を紹介します。これらの団体以外にも白神山地地域内外に多くの個人や団体の自然ガイドが活動しています。

青森県側

西目屋村観光ガイド会
西目屋村内の白神山地散策コースをガイド
申込先：アクアグリーンビレッジ ANMON
電話 0172(85)3021

あじがさわ白神山地ガイド倶楽部
白神の森遊山道コース、くろくまの滝コース等をガイド
申込先：鰺ヶ沢町観光協会
電話 0173(72)5004

岩崎自然ガイドクラブ
十二湖散策コース、白神岳登山コース等をガイド
申込先：アオーネ白神十二湖
電話 0173(77)3311

秋田県側

秋田白神ガイド協会
藤里町内外の白神山地散策・登山コースをガイド
申込先：藤里町商工会観光振興課
電話 0185(79)2518

八峰町白神ガイドの会
八峰町内外の白神山地散策・登山コースをガイド
申込先：白神ふれあい館
電話 0185(70)4211

きみまち観光ガイドの会
二ツ井地区の白神山地地域等をガイド
申込先：二ツ井町観光協会
電話 0185(73)5075

白神山地へようこそ

　白神山地は青森県南西部から秋田県北西部の青森・秋田県境を中心とした広大な山岳地帯の総称です。
　白神山地全体の面積は青森、秋田両県あわせて約13万haともいわれています。
　このうち人為的な影響の少ない原生的なブナ林16,971haが1993年12月に屋久島とともに日本で最初の世界自然遺産に登録されました。

世界遺産地域とは

　世界遺産は、国境を越えて世界の人々が協力し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の財産です。
　世界遺産に登録されることは、その価値を守りつづけることを世界に約束することです。その価値を将来にわたって維持していくために、適切に保護管理されていることが必要です。
　このため、白神山地では大部分が自然環境保全地域、一部が自然公園、遺産地域全域が森林生態系保護地域に指定されているほか、国指定鳥獣保護区や水産資源保護のための禁漁区が河川で設定されるなど、さまざまな法律や制度により守られています。

（単位 :ha）

白神山地世界遺産地域	全体面積	青森県側	秋田県側
	16,971	12,627	4,344

白神山地を守るために ～保護・保全活動～

◇巡視活動◇

　遺産地域内での密漁、植物採取、無許可入山などの行為が行われていないか確認するため、遺産地域内での巡視活動を行っています。

◇自然学習活動◇

　多くの人に白神山地の自然や自然保護に理解と関心を持ってもらえるように、自然観察会等の行事を開催しています。

◇標識等の整備◇

　世界遺産地域の場所や現在地及び世界遺産地域の意義や目的等を案内し、利用マナーなどの周知を図っています。

白神山地を守るために ～調査・研究活動～

◇モニタリング調査◇

　世界遺産地域内ブナ林の状況を把握するためのモニタリング調査を毎年継続して行っています。この調査は、大学の研究者、地域のボランティアと環境省が連携して実施しています。

◇気象観測◇

　世界遺産地域や周辺部の３カ所で気温、風向・風速、雨量、積雪等を継続的に観測し、気象状況を調査しています。

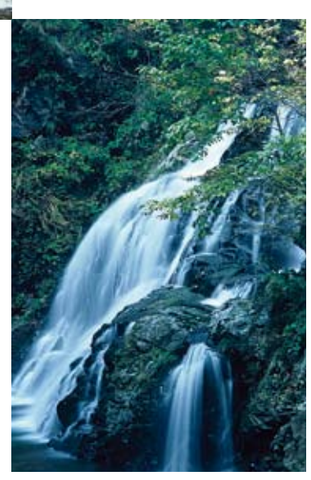
◇入山者数調査◇

　世界遺産地域や周辺部で平成１２年度から自動計測装置により入山者数を調査し、遺産地域の保全のための基礎資料としています。

地形と地質

　白神山地の地質は主として9000万年前（中生代亜白亜紀）に出来た花崗岩を基盤に2000万年～1200万年前頃（新生代第三紀中生代）の堆積岩（凝灰岩、泥岩、砂岩）と貫入岩類（地中のマグマが上昇してできた岩。流紋岩、石英閃緑岩等）で構成されています。

　白神山地は深い渓谷が密に入り組んでいます。遺産地域内の主な河川は秋田県側米代川水系の粕毛川、青森県側には、岩木川、赤石川、追良瀬川、笹内川などがあります。
　各河川を隔てる尾根沿いには標高1,000m級の山々が連なっており、県境沿いの小岳や二ッ森、青森県側の白神岳、向白神岳などがあり、斜面が険しい山が多いのも特徴です。



ブ　　ナ

　ブナは北は北海道の渡島半島から南は九州の大隅半島の日本各地の山地に生育する日本の冷温帯林を代表する落葉広葉樹です。ブナの寿命は約250～300年程度とされ、その樹高は25m程度に達し、幹の太さは1.5m以上になるものもあります。

　ブナの木の樹皮は固くて厚く色は灰白色で表面は平滑、葉の長さは５～８㎝、葉脈は７～11対程度です。
　ブナは５月頃に雄花と雌花を開花させ、実は10月頃に熟します。
　ブナの実には豊凶のサイクルがあり、豊作は５～７年に１回程度といわれています。
　ブナの実は蛋白質や脂肪に富み栄養価が高いため、豊作の翌年にはネズミが大発生することもあります。ブナの森では多くの動植物がブナを中心とした豊かな生態系を形作っています。
　また、ブナの森は渇水や洪水を防いだり、土砂崩れや雪崩を防止するなどのいわゆる公益機能の高い森林とされています。

自然学習・情報施設

◇青森県側◇

詳しい位置は裏の地図をご覧ください

白神山地ビジターセンター
開館時間／4月～10月 8:30～17:00（入館無料）
　　11月～3月 9:00～16:30（入館無料）
休 館 日／4月～12月〔第2月曜日（祝日の場合は翌日）
　　但し、8月は第4月曜日〕
　　1月～3月〔毎週月・木曜日（祝日の場合は翌日）〕
　　年末年始（12月29日～1月3日）
西目屋村大字田代字神田61－1　　電話0172(85)2810

自然観察館「ハロー白神」
開館時間／9:00～17:00（入館無料）
開館期間／5月～10月・開館期間中は無休
鰺ヶ沢町大字一ッ森字吉川30　　電話0173(79)2727

白神の森遊山道「くろもり館」
入林時間／9:00～16:30（4月20日～9月）〔入林有料〕
　　9:00～15:30（10月）〔入林有料〕
開館期間／4月20日～10月・開館期間中は無休
鰺ヶ沢町大字深矢町字矢倉山1－26　　電話0173(79)2009

十二湖エコ・ミュージアムセンター「湖郷館」
開館時間／9:00～17:00（入館無料）
休 館 日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
開館期間／4月下旬～12月中旬
深浦町大字松神字松神山1－3　　電話0173(77)3113

　これらの自然学習・情報施設では、白神山地世界遺産地域や周辺地域の自然や観光の情報案内、学校や各種団体・個人への館内及び屋外での解説のほか、自然観察会や農山村体験等のイベントが行われています。

自然学習・情報施設

◇秋田県側◇

詳しい位置は裏の地図をご覧ください

環境省白神山地世界遺産センター（藤里館）
開館時間／9:00～17:00（4月～12月）（入館無料）
　　10:00～16:00（1月～3月）（入館無料）
休 館 日／4月～12月（毎週火曜日（祝日の場合は翌日））
　　1月～3月〔毎週月・火曜日（祝日の場合は翌日）〕
藤里町藤琴字里栗63　　電話0185(79)3001

ふるさと自然公園センター
開館時間／9:00～17:00（入館無料）
休 館 日／毎週月曜日
開館期間／4月下旬～11月上旬
藤里町粕毛字南鹿内（素波里園地内）
電話0185(79)2518

八森ぶなっこランド
開館時間／9:00～17:00（入館無料）
休 館 日／毎週水曜日（祝日の場合は翌日）
　　年末年始
八峰町八森字三十釜144－1
電話0185(77)3086

あきた白神体験センター
開館時間／9:00～17:00（入館無料）
　　施設利用時に別途料金
休 館 日／年末年始（12月29日～1月3日）
八峰町八森字御所の台53－1
電話0185(77)4455

動　　物

　白神山地には、ブナを中心とした豊かな森林生態系が広がり、遺産地域を含む白神山地全域ではツキノワグマやニホンカモシカなど哺乳類が35種、クロサンショウウオなど両生類が13種、ヤマカガシなどは虫類が9種、鳥類では90種前後が確認されています。その中には、イヌワシやクマタカなどの猛禽類や、日本で最大のキツツキであるクマゲラなど貴重な鳥類も生息しています。

ニホンザル

クマゲラ

クロサンショウウオ

ツキノワグマ

植　　物

　白神山地はブナ林以外にも渓流沿いのサワグルミやトチノキなどの林や、尾根すじのキタゴヨウやミズナラの林、雪崩の多い急斜面では高茎植物の草原や灌木林がみられ、約540種以上の高等植物が確認されています。
　その中にはアオモリマンテマやツガルミセバヤのように白神山地で発見されたものや、トガクシショウマ、リシリシノブなどの絶滅の危機に瀕した植物も生育しています。

サワグルミ

ツガルミセバヤ

核心部への入山について

　青森県側の核心地域内の入山は、指定されたルートに限り、所定の様式による**届出**を提出すれば入山することが可能です。
　秋田県側の核心地域は原則として入山できませんが、学術調査や報道等の場合に限り事前に**許可**を得て入山することができます。
　青森県側の指定ルートは沢登りや藪こぎを必要とする登山の難易度の高い場所ですので、入山の際には注意していただくとともに核心地域及び周辺地域の入山の際には基本ルールと入山マナーを守ってください。

　青森県側世界遺産地域の入山書類は林野庁機関などで入手できます。なお、入山届の受付は下記の機関でも行っています。
　また、白神山地に関する情報の問合せにも対応しています。

◆西目屋村管内◆

◇環境省　白神山地
　世界遺産センター（西目屋館）
　TEL 0172(85)2622

◇林野庁　津軽森林管理署
　TEL 0172(27)2800

◇白神山地ビジターセンター
　TEL 0172(85)2810

◇西目屋村役場
　TEL 0172(85)2111

◆深浦町管内◆

◇林野庁　津軽森林管理署
　深浦森林事務所
　TEL 0173(74)2011

◇深浦町役場　TEL 0173(74)2111

◆鰺ヶ沢町管内◆

◇林野庁　津軽森林管理署
　鰺ヶ沢森林事務所
　TEL 0173(72)2511
　津軽白神森林生態系保全センター
　TEL 0173(72)2931

◇鰺ヶ沢町役場　TEL 0173(72)2111

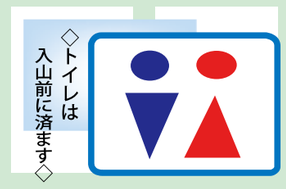
　土日・休日に入山届を出す場合は各機関の玄関等に設置している専用ポストに入山届を投函してください。

入山マナー

　白神山地には貴重な動植物が数多く生息しています。自然の生態系の維持と自然保護のために入山マナーが守られるよう協力をお願いいたします。

◇ゴミは持ち帰る◇

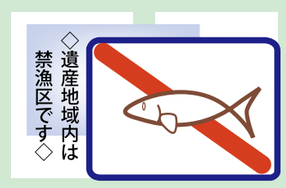
◇植物を採取しない◇


◇トイレは入山前に済ます◇

◇ペットの同伴はダメ◇

◇焚き火は禁止です◇

◇歩道を外れて歩かない◇


◇遺産地域内は禁漁区です◇

白神山地地域概要図

平成26年３月現在

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1/200,000地勢図を使用したものです。（承認番号 平25 東使 第20号）」

リサイクル適正の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。
この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料［A ランク］のみを用いて作成しています。